

事例6 自分が評価したい、されたいと思える学校評価の一工夫

聴き取り校では、「自分が評価したい、されたいと思える学校評価システム」を目指してさまざまな工夫がされています。ここでは、それぞれ工夫された実践を紹介します。

工夫1 週案を活用した評価

【小学校の例】学校の重点課題を週案に位置付け、評価に生かしています。

この学校では、「道徳の時間の充実」が学校の重点課題であることを、常に一人一人の教師が意識して取り組めるように、週案に「道徳の時間の記録」の欄を設けています。教師は、道徳の授業の実践について自己評価し、感想や反省を記述します。校長、教頭、教務主任がそれを確認し、校長がアドバイスを含めてコメントを記述しています。多くの先生方のアドバイスを生かして授業改善を図っています。

| 学習指導計画 第 学期 月 第 学年 組 氏名 | | | | | 授 業 時 数 | | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|------|------|------|-----|-----------------|------|-----|-----|------|-----------|-----|----|----|-----|----|-----------|----|
| 第 週 | | | | | 領域 | 時数 | 週予定 | 週実施 | 学期予定 | 実施累計 | 過不足 | | | | | | |
| 月(日) | 火(日) | 水(日) | 木(日) | 国語 | | | | | | | | 社会 | 活動 | 特別学 | 行事 | 総合的な学習の時間 | 合計 |
| 1 | () | () | () | () | 道徳 | (2)個 | | | | | | | | | | | |
| 2 | () | () | () | 小計 | | | | | | | | | | | | | |
| 6 | () | () | () | 儀 | | | | | | | | | | | | | |
| 反 省 | | | | | 道徳の時間の記録(感想・課題) | | | | | 健・体 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 遠・集 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 勤・奉 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 小計 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 総合的な学習の時間 | | | | | | | |
| | | | | | | | | | | 合計 | | | | | | | |

週案に「道徳の時間の記録(感想・課題)」の欄を設け、具体策の意識化を図りました。毎週その取組状況の評価を行い、ポートフォリオとして成果と課題を蓄積することで、学校評価の総括評価に役立てることができます。

教師は、心のノートを活用した授業の感想や教材研究、資料の分析、活用法など気付いたことを記述しています。

週案を利用した学校評価は、学校の重点課題を常に意識した取組ができ、実践、反省、改善のプロセスが記録として残されるので、成果が分かりやすくなります。学期末に実施される学校評価に、これらの反省から総括することも可能です。しかも、「実践、反省、改善の記録」を校長、教頭、教務主任、学年主任が確認することができるので、教師が抱えている悩みについてアドバイスを得ることもできます。

この事例から学ぶこと！

週案の反省欄に学校の取り組む重点課題を明記し、毎週意識した取組ができるように工夫していることです。

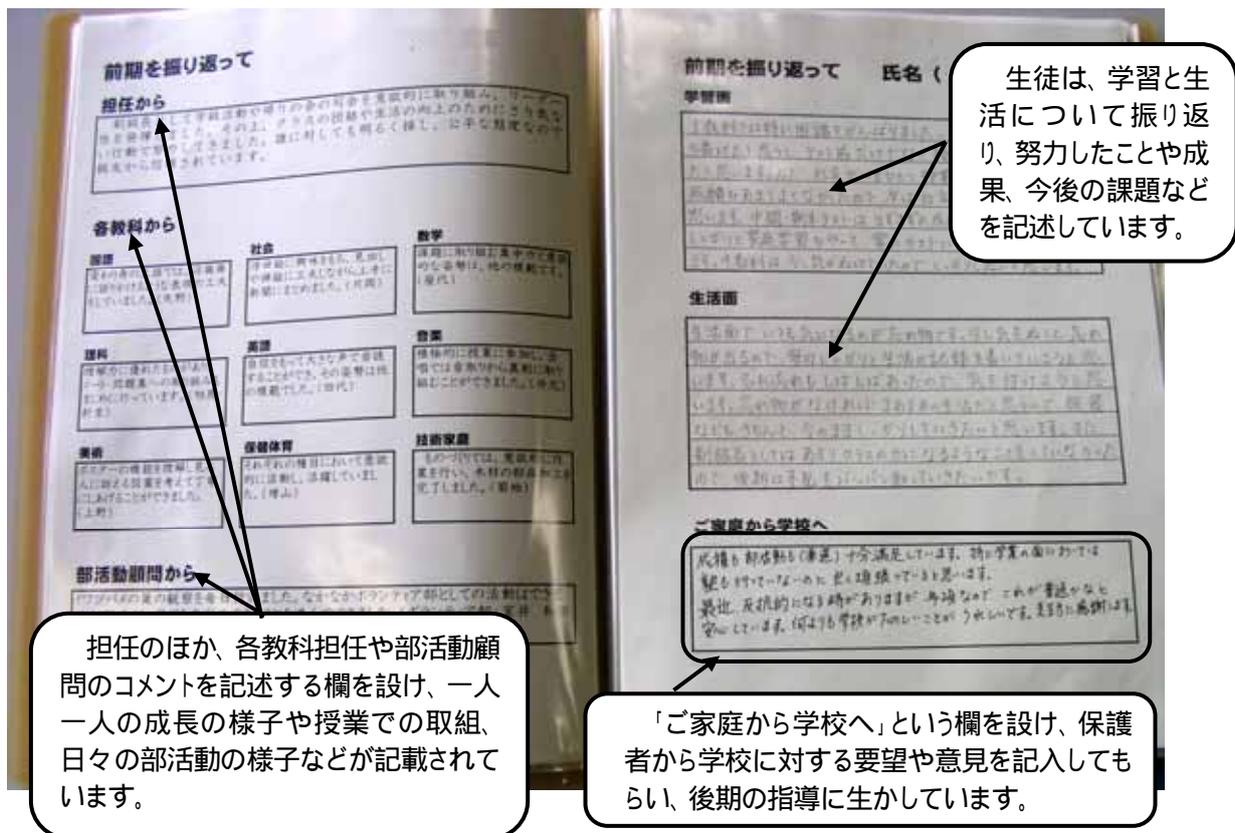
重点課題が、複数設定してある場合は、重点課題の項目を明記し、特に重点的に取り組んできた課題について、「実践上の問題点」、「改善して取り組んだこと」、「データ化して成果に現れていること」等を記録することで、より学校評価としての位置付けが高まります。



工夫2 通知表を利用した情報発信と外部評価

【中学校の事例】ポートフォリオ形式の通知表を利用して双方向の情報交換に努めています。

この学校では、学校行事の記録写真や学習の作品（制作物の写真やコピー）等の学習や様々な活動の記録をファイリングして、一人一人に応じたポートフォリオ形式の通知表を作成しています。学期末には、生徒自身の振り返りと各教科担当からのコメントを書き加えて保護者に渡し、「ご家庭から学校へ」という欄には、保護者から学校に対する要望や意見を記述できるようにしています。



一人一人の成長の足跡がみえ、成長のプロセスが一目瞭然になっているこの通知表は、「子どもの学校での学習や生活や様子が具体的に一目で分かるので大変ありがたい。」と、保護者に大変好評を得ています。保護者は、学年通信や学級通信等を利用した学校の紹介からではなく、自分の子どもの活動を通して学校の様子を把握することが可能です。

生徒と保護者と教師が学習のねらいを共有し、生徒の進歩の状況やよさを把握しながら、成長につなげていくことで、教育目標の具現化を図っていこうとする取組です。

この事例から学ぶこと！

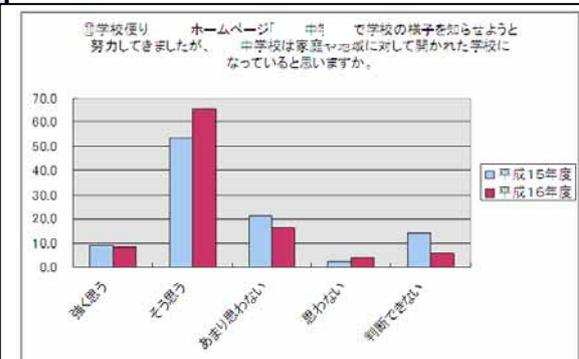
この通知表は、学校の教育活動について、保護者に伝えるだけでなく、学校の教育活動に対する評価も得られるようにしています。



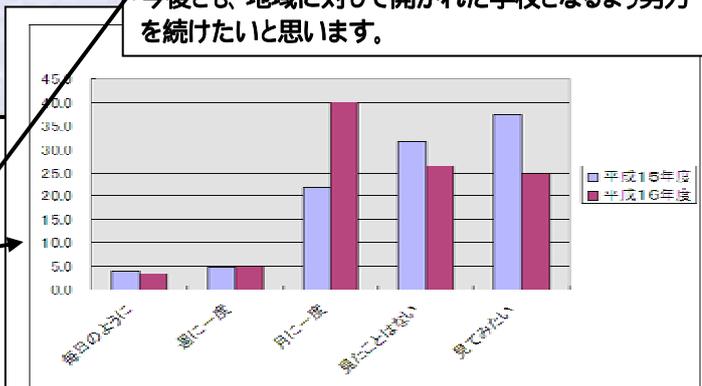
工夫3 ホームページを活用した積極的な情報発信と外部評価

【中学校の事例】学校のホームページを利用し、積極的に情報発信を行っています。
この学校では、ホームページで学校の教育活動や生徒の様子を紹介しています。
今日実施した教育活動はその日のうちに発信されており、日常的な情報提供が、学校への関心を高めることに役立っています。

学校の教育活動の様子が即座に分かり、学校の出来事を共通の話題にして、子供とのコミュニケーションを深めている家庭も増えています。また、学校側からの一方的な情報発信だけでなく、閲覧者の意見や学校への意見収集にも活用されており、時には、学校のOBやOGからも励ましや応援のメッセージをいただくこともあります。



学校の行事、考査等を掲載した学校便りを、年間に12回(毎月10日)発行しています。また、ホームページでは学校の様子をリアルタイムでお知らせしようと努力しています。学校便りやホームページを5割以上の生徒が見ているという回答を得ています。今後とも、地域に対して開かれた学校となるよう努力を続けたいと思います。



現在、ホームページには1か月平均約1000件のアクセスがあります。この数字がさらに増えていくように魅力あるホームページを作成していきたいと考えています。

保護者による学校評価の結果を集計し、学校側の考えとあわせてWebページで公表しています。(平成16年1月)



この事例から学ぶこと!

Webページを利用して、できるだけ新鮮な学校の取組や活動を保護者に伝えていることです。